

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	51	○電話や手紙の支援 希望に応じているが、以前に比べ頻度が減っている。	ご家族や友人とのやりとりを絶たない様、支援を続ける。	年賀状や季節の便りなどを書くようにする。	12ヶ月
2	34	○急変や事故発生時の備え ホーム内での勉強会、研修しか行えていない。	全ての職員が、急変や事故発生時に対応出来るようにする。	消防署の協力を得て、通報訓練を実際に行なったり、消防署主催の救命救急研修を受講する。	12ヶ月
3	40	○食事を楽しむことの出来る支援 重度化しているため、入居者の方が食事の準備や片づけをすることが以前よりも少なくなっている。	個々の入居者に合わせ、出来る事を見つけて一緒に作る喜びを感じ、更に食事を楽しんで頂く。	1, 2ヶ月に1回でも、簡単な調理を入居者の方と一緒にこなす。	12ヶ月
4	49	○日常的な外出支援 重度化しているため、戸外への外出は近隣にしか行けず、重度の入居者はなかなか難しくなっている。	特に外出困難な方を中心に、庭だけではなく、戸外への外出の機会を設ける。	秋頃までに実施する。	10ヶ月
5	44	○便秘の予防と対応 高齢のため、便秘気味の方が多く、下剤の使用が欠かせない。	下剤だけに頼らず、生活の中で運動する機会を多くする。	1日2回のラジオ体操と歌にあわせた体操と、散歩コースを長くしたり、回数を増やし、体を動かす。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。